



しっくい無垢の家
VENT

日本古来の自然素材をいかした快適な住まいを。

VENTが大切にしているのは、家族の健康や安全を考える家づくりをすること。



■ 安全

自然素材のため、空気中の有機化合物を放出しません。

■ 消臭

消石灰は強いアルカリ性のため、室内のニオイを消してくれます。

漆喰

家の空気が家族の健康を見守る。

消石灰が主な原料の漆喰は、古くから日本の住宅や建物に使用されてきました。消石灰は二酸化炭素を吸収しながら100年以上の時をかけ、ゆっくと固まっていきます。湿度を調節してくれるだけでなく、アレルギー物質やシックハウス症候群などの原因物質を吸着分解し、無害化してくれるので、お家の中の空気を安全で心地よい状態に保ち続けてくれます。VENTは、外壁・内壁・天井と、ほぼ家の全体にわたって漆喰を使用しています。

漆喰の魅力

■ 意匠性

塗り方によって表情が変わり、光を乱反射し、美しく輝きます。

■ 抗菌作用

カビやダニの発生を防止、ウイルスなども低減化させることができます。

■ 調湿性能

漆喰の無数の穴が、空気中の湿度を調整する役割を担っています。

■ 耐火性能

石灰岩と同じで、昔のお城や蔵にも使われるほど火に強い防火材です。

■ 耐久性

しっかりメンテナンスすることで半永久的に塗り替えが不要です。

■ メンテナンス性

汚れたり傷ついた場所を、消しゴムやカッターで簡単に修復できます。

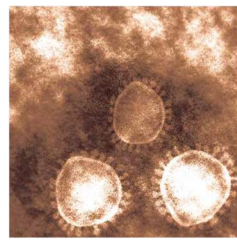
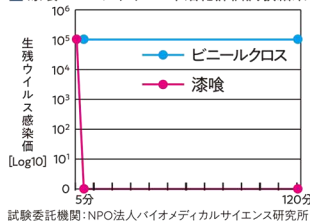
ウイルス対策

漆喰がウイルスを約5分間で100%死滅！^{※1}

消石灰が主成分の漆喰に、ヒト・コロナウイルス (HCoV-229E)^{※2}を付着させて試験を行いました。ウイルスは漆喰に付着させてから約5分後には完全に死滅するという結果になりました。^{※3}(今試験は、新型コロナウイルスと遺伝子情報が90%合致している「ヒト・コロナウイルス」を用いた試験結果です。) また、米国立アレルギー感染症研究所の見解では、新型コロナウイルスがプラスチックやステンレスに付着した場合、生存期間は3日以上と言われています。その見解を踏まえても、漆喰が有益な性能を持つことがわかりました。

※1 「100%不活化(死滅)」は、検出限界以下であることを示しています。
 ※2 「ヒト・コロナウイルス(HCoV-229E)」は「新型コロナウイルス(COVID-19)」とは異なるウイルスです。
 ※3 本試験は、「テストピース」を用いたもので、建物の性質を示すものではありません。
 ※当漆喰はウイルスを不活化する作用を有していますが、感染予防を保障するものではありません。

■ 漆喰のコロナウイルス不活化評価試験結果



無垢 裸足で歩こう。

1本の木から切り出した無垢材は、ひとつとして同じものはありません。木目から色合いまで、それぞれが自然のまま。世界にひとつだけのものです。裸足で歩けば木の感触がしっかりと分かります。夏はひんやり、冬はじんわりと温かい。思わず靴下を脱ぎたくなる家に。また、家に入った瞬間の木の香りが、無垢材だからこそ味わうことのできる贅沢です。無垢材は、樹木の種類によって様々な特徴があり、色や風合い、肌ざわりなどが変わります。家で過ごしたくなる魅力が無垢材にはあります。



無垢の魅力

■ 肌ざわりと和らぎ

天然の木ならではの肌ざわりは無垢の特権。内部に空気を多く含んでいるため断熱効果もあり、冬でもフローリング独特の冷たさは感じません。

■ 調湿効果で快適空間

無垢は周囲の温度や湿度に合わせて呼吸し、室内の湿度を調整してくれます。夏はジメジメを防ぎひんやりと、冬はじんわりあたたかい空間に。

■ 無垢の傷は家族との時間

温かみをもつ無垢だからこそ、傷や経年劣化もひとつのデザイン。それだけ家族との思い出が詰まっている証だと思えます。

■ 家族の健康は足元から

集成材のフローリングは、化学接着剤などでシックハウス症候群を引き起こす可能性も。無垢はその心配がなく、家族の健康を守ることができます。



温度環境

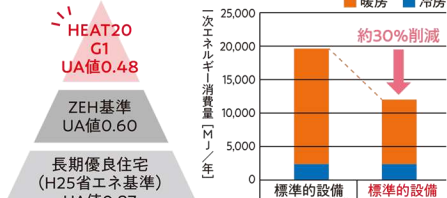
家の中なら
どこでも「快適」。

同じ室温でも壁の温度が低いと部屋全体の温度にムラができ、体感温度が下がります。だからエアコンの室温設定を同じにしても壁が冷たいと暖かく感じなくなるのです。壁を冷えないようにすることによって、寒さ・暑さを我慢しない「快適」な家になります。



温熱性能 断熱性能の高い「あたたかい家」

断熱性能は、長期優良住宅の基準(平成25年省エネルギー基準)を越えるHEAT20・G1レベルです。長期優良住宅基準の住宅と比べても、冬場の一次エネルギー消費量を約30%削減できる省エネな住まいです。

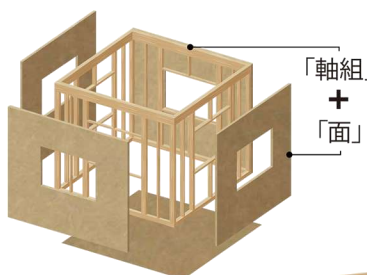


出展:HEAT20 設計ガイドブック+PLUS ※図やグラフは5地域(東京西部)の場合の表記

グラフ:暖冷熱エネルギー消費量

耐震

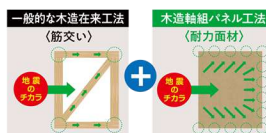
地震を怖がらなくていい家。



世界的な地震大国日本では、地震による数々の悲劇が繰り返されてきました。「地震に強い家」が家族を守ってくれるように…。匠工房は地震に対する強度を指す指標「耐震等級3」のお家を建築することを約束します。

軸組パネル工法とは

設計の自由度が高く将来のリフォームにも対応しやすい軸組工法と、耐震性に優れた2×4建築で採用されているパネル工法の両方をあわせもつ工法です。



耐震等級1

震度6強から7程度の地震に対して倒壊しない建物。また、震度5程度の地震で損傷しない建物。

耐震等級2

学校や病院と同等の強度であり、等級1で想定される1.25倍の地震にも耐えられる建物。

耐震等級3

消防署や警察署と同等の強度で等級1で想定される1.5倍の地震にも耐えられる建物。



耐震等級とは、国が定める住宅性能表示制度により、建築物がどの程度の地震に耐えられるかを示す等級のことをいいます。建築基準法レベルの等級1では、極めてまれに発生する大規模な地震に対して「倒壊・崩壊はしない」ことを求めるものとなります。耐震等級3レベルの建築をすることで安全は格段に高まります。